ろ過のしかた

溶け残りのある液から、溶けている液だけを取り出すには、どのようにろ過すればよいだろう

ろ紙のつけ方



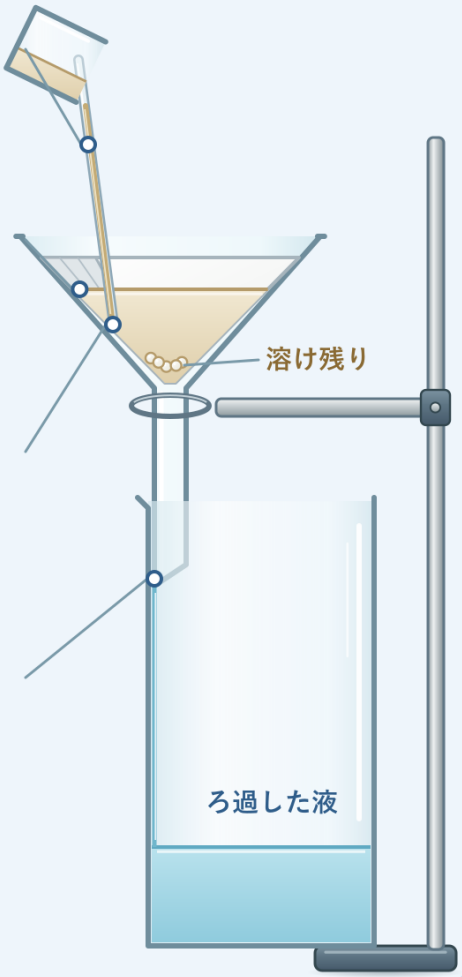
円いろ紙を、
半分に折る。

さらに、半分に
折る。

1まいの所と3まい
の所に分けて開き、
ろうとに入れる。
水でぬらして、
ろうとにはりつける。

横から見た図

1. 液は、ガラス棒に伝わらせて、少しずつ注ぐ。
   （こぼれない）
2. 液は、ろ紙のふちより下まで入れる。
   （ふちからあふれない）
3. ガラス棒の先は、ろ紙の重なった所に軽く当てる。
   （ろ紙がやぶれない）
4. ろうとのあしの先の長い方を、ビーカーのかべにつける。
   （液がはねない）



よくない例



✕ ガラス棒を使わない
液がはねたり、
こぼれたりする。



✕ あしの先をはなす
液がはねる。



✕ 一度にたくさん注ぐ
ろ紙のふちをこえて、
こしていない液が
下にまざる。

ろ過すると

ろ紙の上に、溶け残りが残る。
ビーカーには、溶けている液
（ろ過した液）が出てくる。
ろ過した液は、すき通っている。

! 安全のために

ガラスのろうと・ビーカー・
ガラス棒はわれやすい。
ていねいに扱う。われたら
手でさわらず先生に知らせる。

※ 模式図。器具の形や大きさは例。完全な操作手順ではない（授業では先生の指示で確かめる）。